

第3次うきは市総合計画（案）に関する意見（パブリック・コメント）への回答

No	該当箇所 (ページ)	ご意見（要旨）	市の考え方（回答）
1	p.30	指標のいくつかは何を指しているのかわかりません。別に注釈が必要です。例えば、空き家の利活用件数は空家バンクを通した成約件数だとすると、そのように表示すべきではないでしょうか。	空き家の利活用件数（件）について、より具体的に判別できるよう指標の表記を「市の補助金を活用した空き家の利活用件数（件）」に修正します。
2	p.44	指標のいくつかは何を指しているのかわかりません。別に注釈が必要です。例えば、空き家適正管理件数は、何を指しているのでしょうか。	そのまま放置すれば、将来的に周辺環境に影響を及ぼす可能性のある空き家について、老朽家屋除却補助金等を活用して適切に管理する家屋の件数を指すものです。
3	p.53	指標のいくつかは何を指しているのかわかりません。別に注釈が必要です。例えば、生涯スポーツ関連イベント参加者数が何の競技の参加者数なのか	本指標は、特定の競技に限定したものではなく、世代や障がいの有無に関わらず、誰もが参加できる生涯スポーツの実践機会がどの程度市民に広がっているかを把握するための成果指標として設定しております。 その中で、現時点においてモルックが本市における「世代を超えた生涯スポーツ推進」の象徴的な取組の一つと考えられます。年齢や体力差に左右されにくく、子どもから高齢者、障がいのある方も同ルールで参加できることやルールが比較的簡単で、初心者や運動習慣のない方でも取り組みやすいこと、特殊な施設や高価な器具を必要とせず、屋外で手軽に実施できること、チーム編成が柔軟で、地域・世代間交流を促進しやすいことといった特性を有し、「誰もが参加できる生涯スポーツ」の理念に合致したニュースポーツであると考えます。 このような背景から、令和5年度より市主催の「うきは市民モルック大会」を開催しており、現在では各自治協単位での大会開催など地域主体による自主的な取組へと広がりを見せている状況です。 令和6年度の実績値（93名）および令和12年度の目標値（150名）については、こうした市主催事業を中心としつつ、今後の普及拡大や参加層の広がりを見据えて設定したものです。 なお、総合計画においては、特定競技に固定することを意図するものではなく、今後もモルックに限らず、時代や市民ニーズに応じたニュースポーツやレクリエーションスポーツを柔軟に取り入れながら、生涯スポーツの裾野拡大を図っていく考えです。そのため、本指標は「特定競技の成果」ではなく、生涯スポーツへの参加機会がどれだけ市民に浸透しているかを測るための代表的な数値指標として位置付けております。